

動脈硬化検査

血圧脈波検査	<p>血管を流れる血液の脈動の速さや四肢の血圧を測り、血管の硬さと狭窄（動脈硬化の程度）を調べます。</p> <p>この検査では次の2つのことが判ります。</p> <p>(1)脈波伝播速度（血管の硬さ）</p> <p>心臓から押し出された血液により生じた拍動が動脈を通じて手や足に届くまでの速度のことで動脈が硬いほど速くなります。</p> <p>(2)上腕と足首の血圧比（血管の詰まり具合）</p> <p>上腕と足首の血圧の比を測定することで血管の狭窄の程度が分かります。健常人の場合、足首血圧は上腕血圧より高いのが普通ですが、足の動脈が脂質等で詰まったりすると、血流が悪くなり上腕の血圧より低くなり、上腕と足首の血圧比の値が低くなります。</p>
頸動脈超音波検査	<p>超音波で首の血管（頸動脈）を観察し、動脈硬化を診断します。頸動脈は脳や心臓の血管をうつす鏡であり、動脈硬化が進んでいると脳卒中や心筋梗塞を起こす危険が高くなります</p>